

ASEAN地域の強靱で持続可能な食料システムの構築に向けて ー革新的農林業技術が有するポテンシャルとそのASEAN地域における普及ー

11月15日（土） 01:30-03:00（日本時間） @ASEANパビリオン

世界気象機関（WMO）によると、2024年の年平均気温は産業革命以前の水準より約1.55℃高く、観測史上最高を記録したことが確認された。IPCC報告書が強調するように、農業と食料システムは気候変動の影響に対して特に脆弱であり、食料安全保障の4つの要素：供給、アクセス、利用、安定すべてについて影響が生じている。

直近、食料安全保障や強靱性、GHG低排出といったさまざまな便益に寄与する一連の技術的ソリューションにつき、ASEAN地域での実装が視野に入りつつある。

本セミナーは、ASEAN地域の専門家と連携し、革新的技術が有するポテンシャルを紹介するとともに、ASEAN地域での普及に向けた協力の機会を提供することで、食料システムの強靱性と持続可能性に向けた行動を促進することを目的とする。

1. 開会挨拶

農林水産省農林水産技術会議事務局長 堺田 輝也

2. 基調講演

講演①：ASEAN地域の気候変動と農林業をめぐる状況（概観）

ASEAN-CRN ダダ バクード氏

講演②：ASEAN地域における取組

ASEAN加盟国政府関係者（調整中）

講演③：グリーンアジアプロジェクトの概要

国際農研 社会科学領域長 舟木 康郎

3. プレゼンテーション：革新的技術とASEAN地域での普及

・間断かんがい（AWD）：国際農研 主任研究員 小林 慎太郎、レオン 愛

・生物的硝化抑制（BNI）：国際農研 吉橋 忠

・森林管理技術による緩和策：国際農研 谷 尚樹

ガジャマダ大学 ウィディヤトノ教授

4. パネルディスカッション：ASEAN地域における協力強化の機会

5. 閉会

ASEAN-CRN ダダ バクード氏

お問合せ先

農林水産省 農林水産技術会議事務局 国際研究官室

電話番号：03-3502-7467

（国研）国際農林水産業研究センター 情報広報室

電話番号：029-838-6708



国際農研HP



グリーンアジア